

新しい復興のためである: 出エジプト記の結晶 #28

I. 私たちは新しい復興の中へと入るために、神聖な啓示の最高峰にしたがって卓越したキリストを見て、神・人の生活のためにすべてを含むキリストを認識し、計り知れない豊富なキリストを他の人たちに供給して彼らを牧養し、キリストのからだを建造して、神の都、すなわち小羊の花嫁を究極的に完成する必要があります。

ピリピ3:8 しかしさらに、私はまた、私の主キリスト・イエスを知る知識の卓越性のゆえに、すべての事を損失であると勘定します。その方のゆえに、私はすべての事で損失を被りましたが、それらをちりあくと勘定します。それは、私がキリストを獲得するためであり、10 キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

エペソ3:8 すべての聖徒のうちで最も小さい者よりも小さい私に、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊富を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり、10 今、天上にある支配たちや権威たちに、神の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり、

啓21:2 私はまた聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように整えられて、天から出て神から下って来るのを見た。

II. 私たちは、金の燭台の内在的な意義(神聖な啓示の最高峰)を理解するために知恵と啓示の霊を必要とします。その燭台は、神ご自身によって設計され、神の永遠のエコノミーの目標を描写します:

エペソ1:17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の御父が、知恵と啓示の霊をあなたがたに与えて、あなたがたに彼を十分に認識させ、

啓1:10 私は主日に霊の中にいた。すると、私の後ろのほうで、ラッパのような大声がするのを聞いた。

12 私は、私に語りかけたその声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台を見た。

A. 金の燭台は、三一の神を表徴します:

1. 純金の実質が表徴するのは、父なる神の神聖な性質です。

出25:31 また、あなたは純金の燭台を作らなければならない。その燭台は、その台と幹と共に、打ち物作りで作られなければならない。その盃、萼、つぼみは、燭台と一体でなければならない。

2. 燭台の形状が表徴するのは、父なる神の具体化としての子なる神です。

3. ともし火が表徴するのは、御子の中で御父を表現する、神の七つの霊としての霊なる神です。

啓4:5 御座からは、いなずまと声と雷鳴とが発している。そして七つの火のともし火が、御座の前で燃えていた。この七つの火のともし火は、神の七つの霊である。

B. 金の燭台は、キリストの複製またその霊の複写としての諸地方召会を表徴します：

1. 出エジプト記第25章の燭台は、神の具体化としてのキリストを表徴します(25:31-40節)。

出25:36 それらの萼と枝は燭台と一体になり、その全体は一つの純金の打ち物作りでなければならない。

2. ゼカリヤ書第4章の燭台は、キリストの実際としての七倍に強化された、命を与える霊を表徴します。

ゼカリヤ4:2 彼は私に言った、「あなたは何を御覧ですか?」。私は言った、「私が御覧していると、見よ、すべて金でできた一つの燭台があって、その頂に鉢があり、その燭台の上に七つのともし火があり、その頂にあるともし火にそれぞれ七つの管があります。6 すると、彼は私に答え、話して言った、「これは、ゼルバベルに対するエホバの言葉です。それはこう言います、『権力によらず、能力によらず、私の霊による』と、万軍のエホバは言われます。10 まことに、だれが小さい事の日をさげすんだのか? これらの七つは、ゼルバベルの手にある下げ振りを見て喜ぶ。それらは、全地を行き巡るエホバの目である」。

啓5:6 私はまた、御座と四つの生き物の間、長老たちの間に、ほふられたばかりのような小羊が立っているのを見た。それには七つの角と七つの目があった。それは全地に遣わされた神の七つの霊である。

3. 啓示録第1章の燭台は、この霊・キリストの複写、複製です。

啓1:20 あなたが私の右の手に見た七つの星と、七つの金の燭台の奥義はこうである。七つの星は七つの召会の使者たちであり、七つの燭台は七つの召会である」。

私たちは召会であると言うとき、召会がキリストの複製、その霊の複写であることを認識していなければなりません。…私たちは完全にその霊の中にいなければなりません。私たちはただ部分的に肉の中にいるだけであっても、あわれな複製、あわれな複写となってしまいます。私たち兄弟姉妹が共に集まるとき、みなその霊の中にいるなら、私たちは召会です。もしその霊の外にいるなら、私たちは召会ではありません。私たちが実際的に召会であるかどうかは、その霊の中にいるかどうかにかかっています。…その霊の外にいるとき、私たちは墮落した種族、アダムの子孫にすぎないことを認めなければなりません。

召会とは何でしょうか? 召会とは燭台です。主の回復の中で、私たちすべては、召会がこんなにも高く、こんなにも純粋であることを見なければなりません。召会とはほかでもなく、キリストとその霊です。なぜなら、キリストとその霊はいずれも燭台であり、召会もまた燭台であるからです。これが再生と造り変えの絵です。キリストは、私たちの存在の中へと再生されました。そして私たちは、彼の存在の中へと完全に造り変えられつつあります。彼は燭台であり、召会もまた燭台です。私たちはその程度にまで、召会が何であるかを見なければなりません。私たちが召会のこのビジョンを見るなら、自分の肉を活用することを恐れるでしょう。私たちは、召会が完全にキリストのものであり、その霊の中のものであることを見る必要があります。

Ⅲ. 私たちは金の燭台の詳細の面(神・人の生活)を主観的に経験する必要があります。それによって私たちは燭台の複製、すなわち三一の神の表現となることができます:

A. 燭台が純金からできていることは、神の永遠の、不朽の、神聖な性質を表徴します(出25:31):

1. 私たちは代価を払ってさらに多くの金、すなわち、さらに多くの神の神聖な性質を得る必要があります。

Ⅱペテロ1:4 あなたがたが情欲によるこの世の腐敗から逃れて、神聖な性質にあずかる者となるためです。
啓3:18 私はあなたに勧める。あなたが富むために、火で精錬された金を私から買いなさい。またあなたがまとめて裸の恥を現さないために、白い衣を買いなさい。また見えるようになるために、目に塗る目薬を買いなさい。

マタイ25:8 ところが、愚かな者たちは思慮深い者たちに言った、「あなたがたの油を少し下さい。私たちのともし火が消えそうですから」。9しかし、思慮深い者たちは答えて言った、「私たちとあなたがたのためには、おそらく十分でないでしょう。それよりも、売る者たちの所に行って、自分のために買いなさい」。

2. 私たちのクリスチャン生活における混合は暗やみをもたらしますが、私たちのクリスチャン生活が神聖な性質を通して純粋にされるとき、私たちは光を持ちます。

燭台とその萼と枝がすべて純金の打ち物作りであるという事実は、その実体の全体がすべて純粋にキリストの神性であって、何もそれに加えられていないことを表徴します。萼と枝は燭台に加えられたものではありません。それらは燭台の一部分、純金の打ち物作りの一部分でした。これは、燭台に何の混合もないことを示します。私たちのクリスチャン生活における混合は暗やみをもたらします。

B. 燭台は打ち物作りであり、それは苦難を表徴します(出25:31):

1. 打たれることは、キリストの苦難にあずかることであり、キリストのからだを生み出し建造するためです。

ピリピ3:10 キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、
コロサイ1:24 私は今、あなたがたのために受ける苦難を喜び、そしてキリストのからだなる召会のために、キリストの苦しみの欠けたところを、私の肉体において補い満たしています。

2. 私たちは他の人たちと共に打たれて、一つの実体となり、十字架を通してその霊によって共にブレンディングされ、神の光を輝かし出して、神の団体の証しとならなければなりません。

Ⅰコリント12:24 ところが、私たちの美しい肢体には、その必要はありません。神は欠けている肢体にさらに豊かな尊さを与えて、体を調和させられました。

あなたは燭台を持つようとするなら、他の人と共に打たれなければなりません。あなたは自分の自我を失う必要があります。…あなたが霊的であること自体を目的とするのは、燭台に関する限り無意味です。あなたの神に対する経験と享受は、他の人のそれと共に打たれなければなりません。私たちの金是一緒にされ、打たれて、一つの実体、一つの単位として、建造されなければなりません。その時私たちは金を持つだけでなく、金の燭台へと建造されます。これが召会です。

C. 燭台に寸法がなかったことは、キリストの神性と彼が輝かす光が計り知れないことを表徴します。

ヨハネ3:34 神が遣わされた方は神の言葉を語る。彼はその霊を限りなく与えられるからである。

D. 燭台の安定のための台と力のためのその幹は、主イエスが常に安定して強かったことを表徴します。

マタイ8:24 すると見よ、大暴風が海に起こって、その舟は波に覆われた。ところが、イエスは眠っておられた。

E. 燭台が、アーモンドの花の形のような盃と、萼とつぼみとを持っていることが表徴するのは、三一の神が生きた金の木であって、復活の中で生長し、芽を出し、開花するということです(出25:31)：

1. アーモンドの花の形のような盃は、復活の命が開花したことを表徴します：

民17:8 その翌日、モーセは証しの天幕に入って行った。すると見よ、レビの家のアロンの杖(つえ)が芽を出し、つぼみを付け、花を咲かせ、アーモンドの実を結んでいた。

アーモンドの芽を出したアロンの杖は、復活の命を表徴します。ですから、燭台のアーモンドの花は、それが復活における木であることを示します。復活は、死に打ち勝ち、死によって損なわれたり傷つけられたりする事のない命です。死は復活の命に対して何も行なうことができません。死は他の命の形体、植物の命、動物の命、人の命にあらゆる種類の損害を与えることができます。ただ一種類の命だけが、死によって損なわれることがあります。これが復活の命です。…聖書の完全な啓示によれば、神ご自身がこの復活の命です。

a. 復活の命の開花は、光の輝きであり、神の命の表現であり、その霊の実と光の実です。

ガラテヤ5:22 しかし、その霊の実は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信実、

エペソ5:9 光の実は、すべての善と義と真実の中にあるからです。

b. 私たちは命の光を輝かし出そうとするなら、天然の命の中ではなく、復活の中にいなければなりません。

ピリピ3:10 キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

雅2:8 「わが愛する方の声！ ご覧なさい、あの方がやって来ます。山々を飛び越え、丘の上を跳びはねて。

14 岩の裂け目、崖の隠れ場にいるわがはとよ。私に顔の表情を見せなさい。あなたの声を聞かせなさい。

あなたの声は甘く、あなたの顔の表情は愛らしい。

c. 復活の命としてのキリストは、私たちの中で、私たちによって、私たちと共に生長し、枝を出し、つぼみを出し、開花して光を輝かします。

コロサイ2:19 かしらに結び付いていないのです。この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。

d. 召会の中にどれだけの光があり得るかは、キリストが私たちの中で、私たちを通して成長する道をどれだけ持っているかにかかっています。

2. キリストを信じる者たちとして、私たちは復活の中でこのすばらしい金の木の一部分であり、神聖な性質、神聖な命、その霊、輝く光を持っています。

F. 焦げた芯灯(とうしん)を切り取るための純金の芯切りばさみと芯取り皿が表徴するのは、神聖な性質によって古く焦げた天然の命を対処して、復活の命の輝きを明るく、純粹にすることです。

出25:38 その芯(しん)切(き)りばさみと芯取り皿は純金でなければならない。

G. 燭台とそのすべての器具は純金一タラント(約100ポンド=45.4kg,時価約2億2千800万円)でした。これが表徴するのは、復活の中で神聖な光を輝かせる神聖な燭台としてのキリストが、十分に完全な分量であるということです。

出25:39 燭台とこれらすべての器具は、純金一タラントで作らなければならない。

ヨハネ7:46 下役たちは答えた、「この人が語るように語った人は、いまだかつてありません」。

H. 燭台の七つのともし火は、神の七つの霊、すなわち、エホバの七つの目(ゼカリヤ4:10)、贖う小羊の七つの目(啓5:6)、建造する石の七つの目(ゼカリヤ3:9)であって、三一の神に完全な表現を得ていただきます：**啓5:6** 私はまた、御座と四つの生き物の間、長老たちの間に、ほふられたばかりのような小羊が立っているのを見た。それには七つの角と七つの目があつた。それは全地に遣わされた神の七つの霊である。

1. その霊がなければ召会はありません。その霊があればあるほど、ますます召会があるようになります。

ゼカリヤ4:6 「権力によらず、能力によらず、私の霊による」と、万軍のエホバは言われます。

2. 小羊の七つの目は、法理的な贖い主としてのキリストを私たちに注入します。石の七つの目は、有機的な救い主としてのキリストを私たちに注入します。それは地上における神のエコノミー上の行動のためであり、彼の贖いを通して、彼の有機的な救いによって、彼の建造の目標に到達するためです。

ローマ5:10 というのは、私たちが敵であった時に、神の御子の死を通して神に和解させられたからには、和解させられている今、さらにいっそう彼の命の中で救われるからです。

3. 主の七つの目は火の炎として、照らし注入することによって、見つめ、観察し、探り、裁きます(啓1:14)。

ダニエル10:6 彼の目は火のたいまつのもようであり、

4. 私たちの内側には二つのともし火、すなわち、私たちの霊の内側にある七倍に強化された神の霊があります：**箴20:27** 人の霊はエホバのともし火であり、内なる存在の最も深い部分をすべて探る。

a. 私たちは造り変えられるために、祈りの中で主に完全に開いて、主のともし火と七つの火のともし火に私たちの魂のすべての部屋を探らせ、私たちの内側の各部分を輝かせ、照らし、それらに命を供給していただくかなければなりません。

Iコリント2:11 いったい人の事柄は、人の中にある人の霊のほかに、人の間でだれが知っているでしょうか？ 同じように、神の事柄も、神の霊のほかにだれも知りません。

b. 最も多く造り変えを経験する人は、主に完全に開いている人です。

5. 私たちが燭台において描写されている三一の神の各方面の詳細を経験すればするほど、ますます私たちは燭台の複製を見るようになります。それは主が再臨して全地を所有するための道を整えます。

IV. 金の燭台を有機的に維持することは、キリストの天の務めであって、彼の人性において諸召会をはぐくみ、また彼の神性において諸召会を養って、彼の有機的な牧養を通して勝利者を生み出すことです:

啓1:13 その燭台の間に、人の子のような方が、足まで垂れた衣を着て、胸に金の帯を締めておられた。

A. キリストは人の子として、彼の人性の中におられます。金の帯は彼の神性を表徴し、胸は愛のしるしです:

1. キリストは腰に帯を締め、神聖な働きのために強められて、諸召会を生み出しました。しかし今や、彼は胸に帯を締めており、彼がご自身の愛によって生み出した諸召会を顧みています。

出28:4 彼らを作るべき衣は次のとおりである。すなわち、胸当てとエポデと上服と市松模様の下服、巻き頭きんと飾り帯である。彼らは、あなたの兄弟アロンとその子たちのためにこの聖なる衣を作り、彼を私に祭司として仕えさせなければならない。ダニエル10:5 目を上げて見ると、見よ、ひとりの人がいて、亜麻布をまとい、腰にはウパズの純金の帯を締めていた。

2. 金の帯は、キリストの神聖な活力としてのキリストの神性を表徴します。胸は、この金の活力が彼の愛によって、また彼の愛をもって行使され、動機づけられて諸召会を養うことを表徴します。

B. キリストは人の子としての彼の人性において諸召会を顧みて、それらをはぐくみます:

1. 彼は燭台のともし火を整えて、それを適切にし、私たちをはぐくんで、私たちを幸いにし、喜ばせ、心地良くします:

出30:7 アロンはその上で、かおり高い香をたかなければならない。朝ごとにともし火を整えるとき、香をたかなければならない。

a. 主の臨在は優しさと温かさの雰囲気をもたらして、私たちの存在をはぐくみ、私たちに安息、慰め、いやし、清め、励ましを与えます。

b. 私たちは召会において主の臨在のはぐくむ雰囲気を楽しんで、養う命の供給を受けることができます。

2. 彼は燭台の灯芯を切り取り、私たちが輝くのを妨げるすべての消極的な事柄を切り落とします:

a. 灯芯の焦げた部分、すなわち灯花は、神の定められた御旨にしたがっておらず、切り落とされる必要のある事柄を表徴します。それは私たちの肉、天然の人、自己、旧創造などです。

b. 彼は諸召会の間からすべての違い(過ち、短所、失敗、欠点)を取り除きます。それによって諸召会は、本質、外観、表現において同じになります。

C. キリストは彼の神性において、彼の胸にある金の帯によって表徴される神聖な愛をもって諸召会を顧みて、養います:

1. 彼は三つの時期の満ち満ちた務めにおいて、すべてを含むキリストとしてのご自身をもって私たちに養います。それによって私たちは神聖な命において成長し、円熟して、彼の勝利者となって彼の永遠のエコノミーを完成します。

2. 彼は歩くキリストとして各召会の状態を知ります。また彼は語る霊として燭台を整え、新鮮な油、すなわち、その霊の供給をもって燭台を満たします。

3. 私たちは彼の行動にあずかり、彼の顧みを享受するために、召会の中にいなければなりません。

経験: 学生生活編

- ① 金の燭台を主観的に経験する: 学生であるあなたが、金の燭台の内在的意義を知り、主観的に経験することは極めて重要です。金の燭台は、三一の神の生きた金の木であって、復活の中で私たちと共に生長し、枝を出し、つぼみを出し、開花して光を輝かします。あなたが学生生活で、暗闇から救われ、命の光の照り輝きを経験したいのなら、天然の命の中ではなく、復活の中にいなければなりません。
- ② 神の聖なる所に入り、悩みの回答を得る: 学校では、例えば、「嘘をついても責められず、虚偽がまかり通る」、「性格が悪く、ごまかした人が先生に評価される」、「表面的に繕っている人がクラスメイトに評価されている」、「悪いことをしても、成績が良ければ先生から注意されない」ことなどがあり、まじめな人、正直な人が損をしているように感じる場合があります。このことについて聖書は、「神の聖なる所へと入る」ことにより、問題の回答を得ることができると言っています。
詩73:16 私がこれを理解しようと考えたとき、私の目にそれはめんどうなことであった。 **17** 私が神の聖なる所へと入り、彼らの最後に気づくまではそうであった。
FN「神の聖なる所へと入り」: 悪しき者の繁栄に関する詩篇の作者の困惑の回答は、神の聖なる所で得られました。第一に、神の聖なる所、神の住まいは、私たちの霊であり、第二に、それは召会です。こうして、私たちは神の聖なる所に行くために、私たちの霊に戻り、また召会の集会に行く必要があります。いったん私たちが聖なる所(霊の中と召会の中)にいるなら、悪しき者に関する状況の別の見方、特別な了解を持つでしょう。私たちの霊の中と召会の中で、私たちは神聖な啓示を受け、すべての問題の説明を得ます。
- ③ 霊を活用する: あなたが自分の霊を活用することは、復活の中にあることです。復活の中で、命の光にあずかるとき、物事に対する啓示を受け、回答を得ることができます。あなたは悩み苦しむ魂から離れ、霊に戻り、主を見上げ、主を賛美すべきです。
エペソ6:17 その霊である神の言葉を、 **18** すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、
詩42:5 わが魂よ、なぜうなだれるのか？ なぜ私の内で思い乱れるのか？ 神を待ち望め。私は彼の御顔の救いのゆえに、なおも彼をほめたたえます。
- ④ 召会の集会に来る: また、あなたが主の御名の中で召会の集会に来ることも、復活の中にあることであり、あなたに命の光の輝きを与えます。集会の中であなたは、悩みの解決、困難を乗り越える力、励ましや慰めなどを得ることができます。あなたは学校が忙しくても、神の聖なる所である召会の集会に来て、光の照り輝かしとその様々な祝福にあずかってください。
ヘブル10:24 また互いに顧みて、愛と良いわざに励み合おうではありませんか。 **25** ある人たちが習慣としているように、私たち自身の集会を放棄してはいけません。むしろ、互いに勧め合いましょ。かの日が近づいているのを見ているのですから、ますますそうしようではありませんか。

1. 主はひとつの栄ごうの召会を持つ。
われら主にありて分あり。
見よ、宇ちゅうにあるひとつのからだ、
主はわれらをいちとする。
ハレルヤ、みからだ、われらその肢たい、
すべては完成して、
主はわれらをいちとする。
2. 孤りつせず団体のあたらしいひと。
主ご自身を完全に表現す。
いま地方だけでなく団体のからだ、
われらはそのうちにある。
ハレルヤ、みからだ、
サタンをおびやかす。からだにあり勝利、
われらはそのうちにある。
3. 主の神せいな性しつがあらわれる、
ななつの金のしょくだいに。
からだの生かつに天然の存在なし、
ひかり発し照りかがやく。
ハレルヤ、みからだ、そは金のしょくだい、
いたるところにて、
ひかり発し照りかがやく。
4. いかにしんせいになり、かがやくか、
いかにいちとされるのか？
主はいのちの木、新せんえんせき、
日々イエスを食べるはみち。
イエスを食べていち、
イエス食べ聖とされ、
イエス食べかがやく、ハレルヤ、
イエス食べるみち！

1. 哦，基督有一榮耀召會，我們有分於她—何等喜樂，主使我們合為一！
看哪，在宇宙中有一身體，我們屬於她—阿利路亞，主使我們合為一！
阿利路亞，榮耀身體！我們是身體的肢體！
一切完全為這身體！阿利路亞，主使我們合為一！
2. 不是單獨孤立基督徒，乃是團體新人—神需要她 完全彰顯祂自己！
不僅是一個地方召會，乃是整個身體—
阿利路亞，我們在這身體裡！阿利路亞，榮耀身體！
使撒但戰抖的身體！在身體裡我們得勝！阿利路亞，我們在這身體裡！
3. 神那完全聖別的性情，顯在七金燈臺—身體生活不容天然的存在。
我們合一且有分神性，金燈臺就照耀—
阿利路亞，她正發光且照耀！阿利路亞，榮耀身體！
這個身體是金燈臺！處處發光，精光照耀！阿利路亞，她正發光且照耀！
4. 我們如何彰顯這合一，聖別並且照耀？阿利路亞，喫主耶穌就是路！
祂是生命樹，是嗎哪，又是常新的筵席—
阿利路亞，我們天天都喫主！我們合一藉著喫主！
我們聖別藉著喫主！我們發光藉著喫主！阿利路亞，喫主耶穌就是路！

1126E

3. There are seven golden lampstands in the nature all divine -
Nothing natural does the Body life allow.
When we're one and share God's nature,
how the lampstand then does shine -
Hallelujah, it is brightly shining now!
Hallelujah for the Body!
For the lampstands of the Body!
For the golden, shining Body!
Hallelujah, it is brightly shining now!
4. How may we express such oneness, be divine and shining too?
Hallelujah, eating Jesus is the way!
He's the tree of life, the manna, and the feast that's ever new -
Hallelujah, we may eat Him every day!
We are one by eating Jesus!
We're divine by eating Jesus!
How we shine by eating Jesus!
Hallelujah, eating Jesus is the way!